

1. はじめに

凍てつく寒さに耐えきれず、小走りで授業に向かうことが多くなりました。今年は幸いにもあまり雪が降らず、よく青空が広がっています。冬休み明けに少し授業を減らし、Computer Applicationのクラスだけを取ることにしました。帰国も近いので興味のあることに重点を置いて残りの留学生活を楽しみたいと思っています。

2. 冬休み

12/20 から 1/4 までが冬休みとなっており、この間私は寮に滞在していました。ほとんどの学生が実家に帰ってしまうので寮は閑散としています。休暇中は学内の食堂が全て閉まるので、事前に友人にお願いしスーパーで買い溜めしました。かねがね気になっていたマッシュドポテトを作る機会もようやく訪れ、ほくほくしながら友達と食べました。



図1 マッシュドポテト

3. FE Exam

日本でいうところの技術士補の資格がこれにあたります。かつては1年に2回、4月と10月しか受験することができませんでしたが、ここ数年で方針が変わり現在は1年に8回(1-2, 4-5, 7-8, 10-11月)とほぼ年間を通して受験する機会が設けられています。さらに大きく変わったのが受験方法です。ちょうど1年前からペーパーテストが廃止になり、コンピュータテストへと移行されました。それに伴い、午前4時間120問あった基礎知識と午後4時間60問あった専門知識(計8時間全180問)が統合されました。現在は専門分野ごとに問題が異なり、約6時間全110問となっています。もう少し詳しく言うと、この6時間にはガイダンス8分、休憩25分、短いアンケートの時間が含まれていて、試験時間は実質5時間20分となっています。ちなみに、25分の休憩は約55問終えたところで促され、その際この約55問を提出します。これ以降はこの提出した問題にはアクセスできなくなるので注意が必要です。この休憩は完全に取る必要はなく早めて残りの試験に取り組むこともできます。しかし、早めた分の時間を試験時間に加えることはできません。また、この決められた25分以外にも休憩を取ることが可能ですが、その間の時間は試験時間から差し引かれるのでこれも注意が必要です。

RoseにおけるFEの位置付けですが、どうも学科によって異なるようです。MEの教授からCE(Civil Engineering)の教授を紹介していただき少しお話を伺ってきました。他学科の状況はよく分からないようですが、どうやらRoseの学生の受験者数は少し減っているようです。理由は受験料と受験の日程の変化です。以前は学内で受験することができ且つ受験料も\$20と格安だったのですが、受験方法が変わったことにより市内の特定の施設まで行かなければならず、また受験料も\$225と格段に上がりました。FEの受験資格は卒業予定の大学4年生から認められており、かつては皆4月に受験を予定し、それに合わせてreviewing sessionというFE対策のクラスも開いていたようです。しかし、受験の機

会が広がったことで受験日が個人で異なるようになり、結果としてスケジュールを合わせづらくなったようです。

CEでは今年も reviewing session を開き、週に1回ほど行っているそうです。その週のテーマや時間の都合などで人数は変動しますが、20~25人ほどが参加しています。内容は典型的な問題を中心に、参考書の演習を行うこともあります。ちなみに Rose の CE の学生の合格率は80~90%と聞きました。社会に出てからだと内容を忘れてしまうことも多いので、学生の間にも受験することを勧められました。

CEではFE Examの受験を推奨していますが、他学科はそこまでではないようです。実際、NCEESのHPを見ても受験者が一番多いのはCEです。これは、建設の際にPEの資格が求められるからです。一方、Computer Science や Computer Engineering などの学科はPEの資格が仕事に直結することは少なく、取得する必要はあまりないようです。CEにおけるPEの重要性に関して詳しく説明していただいたのもう少し言うと、PEは今後のキャリアに関わってくる資格です。つまり、この分野で昇進や起業をしたり所得の増加を望んだりするのであれば不可欠になってくるということです。同時に、PEはその建設に対しサインをすることで保証しなければならず、責任が重いと云えます。このあたりは科学技術者倫理で触れていたところなので想像に難くないと思います。

PE: 日本でいうところの技術士の資格

NCEES(英語): <http://ncees.org/>

JPEC(日本語): <http://www.jpec2002.org/top.html>

以上で今月の報告を終わります。